

日韓交流報

2017年(平成29年)10月31日(火曜日) 12版 総合 2



平成29年
8, 9, 10
月号

平成29年10月30日、ユネスコは世界記憶遺産に朝鮮通信使に関する記録と上野三碑を登録することを決めました。関連記事は、本紙終面をご覧ください。



朝鮮通信使「世界の記憶」

ユネスコ「上野三碑」も登録

【パリ＝竹田佳彦】国連教育科学文化機関(ユネスコ)は三十日、歴史的な文書などを対象とする「世界の記憶」(世界記憶遺産)に、名古屋市の蓬左文庫を含め、栃木、長崎など十二都府県と韓国にある江戸時代の外交資料「朝鮮通信使に関する記録」と、群馬県高崎市の古代石碑群「上野三碑」を登録することを決めた。＝関連2面

杉原リストは不登録

【パリ＝竹田佳彦】ユネスコは三十日、歴史的な文書などを対象とする「世界の記憶」(世界記憶遺産)に、名古屋市蓬左文庫を含め、栃木、長崎など十二都府県と韓国にある江戸時代の外交資料「朝鮮通信使に関する記録」と、群馬県高崎市の古代石碑群「上野三碑」を登録することを決めた。＝関連2面



朝鮮通信使の行列を描いた「朝鮮通信使巻」の部分(長崎県立対馬歴史民俗資料館提供)

スゴのボコバ事務局長が登録を最終決定した。

「世界の記憶」には、日本からはこれまで「慶長遣欧使節関係資料」(宮城



世界の記憶 国連教育科学文化機関(ユネスコ)が重要性を認め、保護と公開の対象とする文書や絵画、映像フィルムなど。各国政府や民間団体の申請を受け、2年に1度、登録を審査する。2015年の審査終了時点の総数は348件。同じユネスコの世界遺産、無形文化遺産と違って審査ルールを定めた条約はなく、ユネスコの自主事業として運営されている。

「日韓友好の歴史に光を」

朝鮮通信使登録 草の根交流結実

朝鮮通信使は、江戸時代の日韓両国の友好関係を象徴する存在だ。関係資料を「世界の記憶」に登録する取り組みも日韓共同で進められた。両国には慰安婦問題や竹島領有問題のような障壁もあるが、関係者は「友好の歴史に光が当たれば」と期待している。

朝鮮通信使は、豊臣秀吉の朝鮮出兵で断絶した国交を回復する目的で始まり、約二百年の間に十二回往来。使節は武官や文官、医師、楽隊などで五百人にも達した。

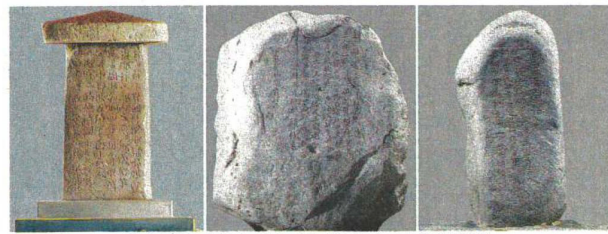
一行は釜山から船に乗り、対馬を経て大阪まで瀬戸内海を移動。淀川をさかのぼり、京都からは主に東海道で江戸へ向かった。徳川家康が祭られる日光東照宮を訪ねたこともあった。宿場では日本の医師や学者らが競って面会し、進んだ学問や文化を学んだ。民衆も異国情緒あふれる行列を楽しんだ。一方、通信使が日本から持ち帰ったサツマイモが朝鮮に定着し、飢饉を救ったこともあった。こうして中で残された外交

上野三碑 漢字・仏教の受容史

群馬県高崎市にある上野三碑は、国内に現存する古代石碑の中でも比較的古い時代に属する。碑文はいずれも漢字で刻まれ、中国の漢字文化や政治制度、仏教の受容の歴史を物語る。群馬県立女子大の熊倉浩靖教授(古代日本史)は「古代だけでなく、近代の東アジアの交流にもつながる貴重な資料」と話す。

多胡碑は上野国に「多胡郡」が新設されたのを記念し奈良時代の七一一年に建てられた。碑文を写した拓本が江戸時代に朝鮮通信使を介して中国に渡り、優れた書体の手本とされたことも確認されている。

古くから郷土の誇りとして大切にされ、戦時中は多胡碑の前で撮った家族写真を持って戦地に赴いた兵士



「上野三碑」の(左から)「多胡碑」、「金井沢碑」、「山上碑」

も多かった。戦後、米軍側の破壊を恐れた住民が、碑を地中に埋めて隠したというエピソードもある。

山上碑は、僧侶が母親の供養のため飛鳥時代の六八一年に建立。奈良時代の七二六年に地元の豪族が建てた金井沢碑には、仏教信仰に基づき一族の繁栄を願う言葉が刻まれている。

山上碑の文字は漢文とは異なる日本語の語順で記されており、多胡碑記念館(高崎市)の和田健一学芸員は「伝来した漢字を自分たちのものにしていった過程が分かる」と説明する。



協会活動の報告・予定

- 平成29年8月30日 第49回 韓日歴史・文化フォーラム (堀江会長が出席されました)
- 平成29年9月19日 第2回 理事会『平成28年度決算報告等について』 (於：札幌かに本家 栄中央店)
- 平成29年9月24日 第18回 全日本空手道選手権大会 (当協会が協賛し、堀江会長が出席されました)



平成29年8月15日、東海市芸術劇場にて民団愛知創団70周年記念『第72周年 8.15光復節 記念式典』が開催され、堀江会長、成田理事、大島理事、文岡理事、高山理事が出席されました。



在日本大韓民国国民団愛知県地方本部は、今年で創団70周年を迎えられ、平成29年10月29日にウェスティンナゴヤキャスルで開催された記念式典に堀江会長が出席されました。

— 日韓文化講演会 —

朝鮮玩具から見た戦前の韓流ブーム

講師：佛教大学 歴史学部 歴史文化学科 教授 鈴木文子

主催：名古屋日韓親善協会 日にち：2017年10月13日（金） 場所：名古屋国際センター



鄭煥星総領事

名古屋日韓親善協会 齊藤美会長

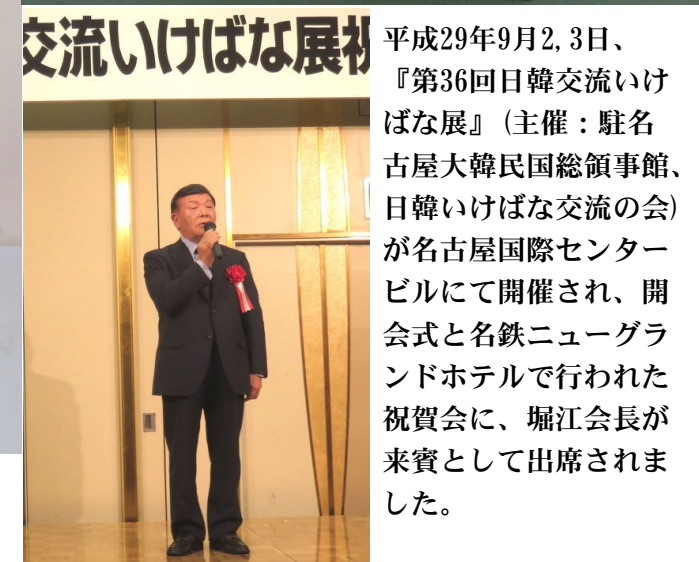


平成29年10月13日、名古屋国際センターにて行われた文化講演会『朝鮮玩具から見た戦前の韓流ブーム』（主催：名古屋日韓親善協会）に堀江会長が来賓として出席されました。



上：日韓いけばな交流の会 齊藤沙映会長の作品

右：駐名古屋大韓民国総領事館 鄭煥星総領事令夫人 金眞淑様の作品



平成29年9月2, 3日、『第36回日韓交流いけばな展』（主催：駐名古屋大韓民国総領事館、日韓いけばな交流の会）が名古屋国際センタービルにて開催され、開会式と名鉄ニューグランドホテルで行われた祝賀会に、堀江会長が来賓として出席されました。



ドキュメンタリー映画 **かけはし**

第1章 I am a Bridge!

「かけはし」の取材を通して出会った世界の若者たちの姿から強く感じたことです。

母国に帰った後も、日本がもう一つの故郷として愛される国であったなら、そして出会いによって生まれる新しい視点、より多様な可能性と心豊かな社会を生み出さうとするのなら、世界の人々と繋がり育まれる友情は、平和で魅力ある日本と世界を創り出していくことでしょう。

日本全国でのドキュメンタリー映画『かけはし』上映に向けて、皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

ドキュメンタリー映画『かけはし』企画・プロデューサー：中村里美

平成29年9月16日、『第41回日韓友好交流会』（主催：日韓友好交流会）は、民団愛知中村支部にて映画『かけはし』上映会が開催され、堀江会長が出席されました。

2017年7月6日(木)

中日新聞